

OYASHIKI-SITE

小屋敷遺跡

[C区東]写真図版編

県営圃場整備事業にともなう埋蔵文化財発掘調査

1997

長坂町教育委員会
峡北土地改良事務所

例 言

- 1 本書は山梨県北巨摩郡長坂町大八田字小屋敷ほかに所在する小屋敷遺跡発掘調査報告書C区東地区写真図版編である。
- 2 発掘調査は山梨県宮岡場整備事業にともない、山梨県北土地改良事務所からの委託を受け、長坂町教育委員会が実施した。
- 3 本書の編集は小宮山隆（町教育委員会埋蔵文化財担当）が行った。
- 4 図版作成・整理に関わる業務については吉田光雄（町教育委員会埋蔵文化財調査補助員）が行った。
- 5 出土品及び図面・写真は長坂町教育委員会が保管している。

もくじ

小屋敷遺跡（C区東）全景	1
遺物出土状況(1)	2
遺物出土状況(2)	3
遺物出土状況(3)	4
遺物出土状況(4)	5
遺物出土状況(5)	5
遺物出土状況(6)	6
遺物出土状況(7)	6
薬研堀土層	6
出土遺物(1)	7
出土遺物(2)	8

写真図版について

本書は、長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書第13集小屋敷遺跡発掘調査報告書（以下、報告書と略す）において、図版整理と編集の都合上掲載できなかった写真図版を補ったものである。なお、報告書に記したように、これら写真図版についても、調査後の教育委員会における管理体制の不備のために不明な点が多い。ここで補った写真図版について若干の説明を加えておきたい。

出土状況(1)(2)：報告書35図No.264と同36図No.294の共存出土。報告書ではともにC区東地区出土位置不明遺物としたが、上墳内からの一括出土であることがわかる。

出土状況(3)：報告書30図No.173他の上墳内出土状況。No.173も上墳内出土遺物に改める。

出土状況(4)：報告書23図No.30の出土状況。土壌覆土中に確をとまらう。

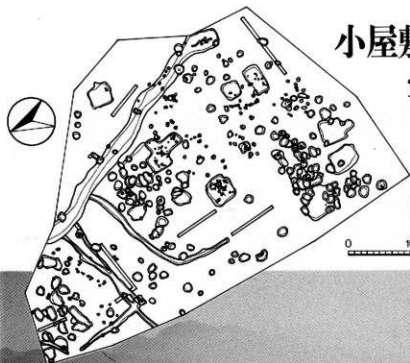
出土状況(5)：報告書22図No.1の出土状況。逆位の埋設土器であろう。

出土状況(6)(7)：報告書30図No.162の出土状況。曾利新3式土器¹⁾が共存している。これら曾利式土器は、調査後所在不明で報告書では図版できなかった。加曾利E式系土器と曾利式土器の共存関係をうかがえる資料である。

本書7・8頁：報告書66～70頁掲載と同図版。

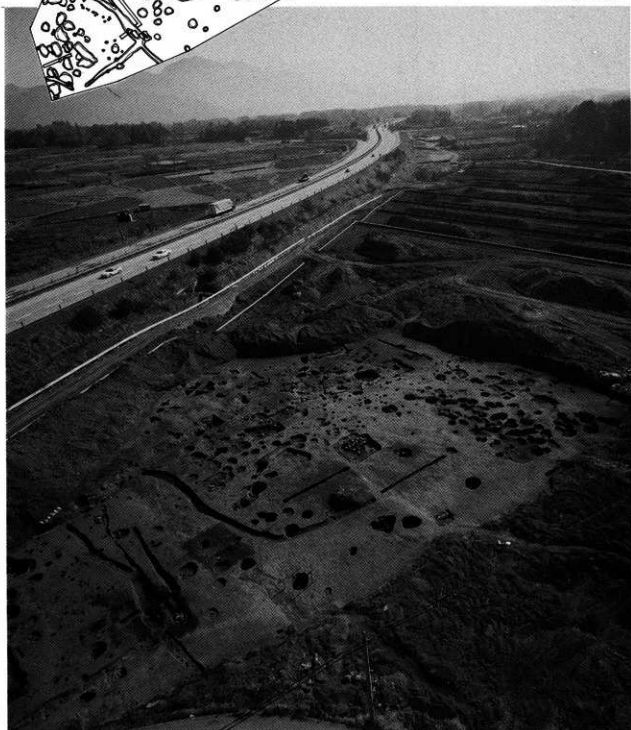
註¹⁾ 佐野 隆1997「曾利式土器終末期の編年について」『八ヶ岳考古』平成8年度年報 北巨摩市町村文化財担当后会

小屋敷遺跡<C区東> 写真図版



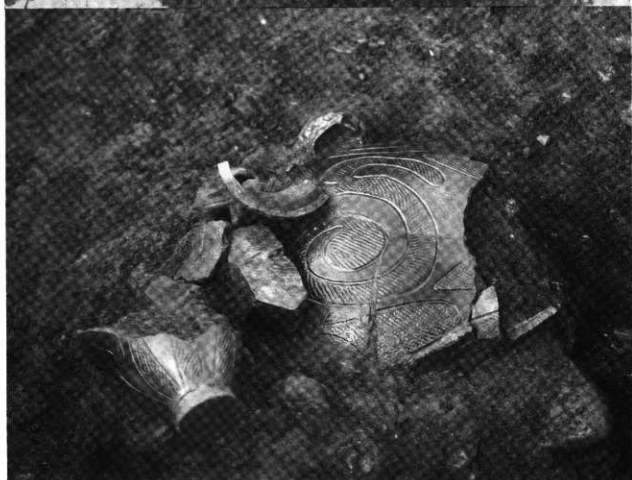
0 10 20m

調査区全景





遺物出土状況(1)



遺物出土状況(2)



遺物出土状況(3)



遺物出土状況(4)



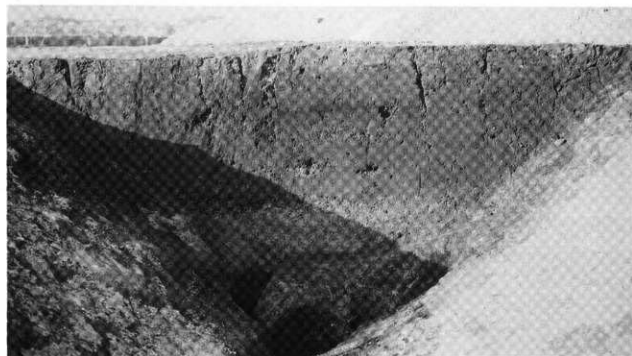
遺物出土状況(5)



遺物出土状況(6)



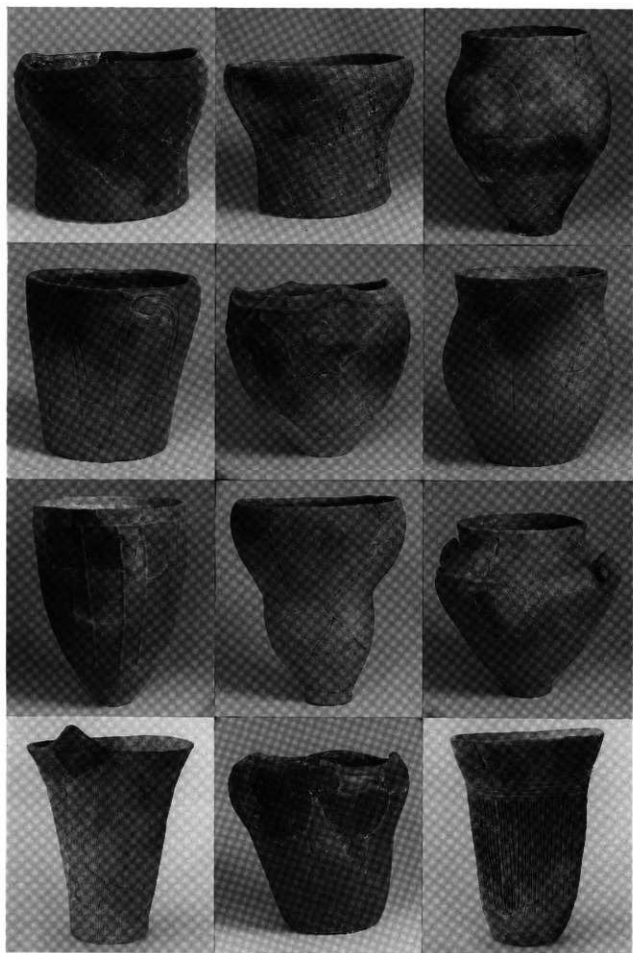
遺物出土状況(7)



薬研堀土層



出土遺物(1)



出土遺物(2)

報告書概要

書名	小屋敷遺跡(C区東)写真図版編	
シリーズ	長坂町教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告書第16集	
著者名	小宮山 隆	
編集・発行機関	長坂町教育委員会	
住所・電話	山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575-19 TEL0551-32-2111	
印刷所	峡北印刷株式会社	
発行日	1997年3月31日	
遺跡所在地	山梨県北巨摩郡長坂町大八田字小屋敷 他	
25,000分の1地図名	谷戸	
位置	北緯35度50分10秒 東経138度23分10秒	
標高	727m(C区東地区)	
概要	主な時代	縄文時代中期後半
	主な遺構	縄文時代中期後半を主とした土壇群
	主な遺物	縄文時代中期後半土器
調査期間	1991年6月～1991年10月	

長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書 第16集

小屋敷遺跡(C区東)写真図版編

1997年3月25日 印刷

1997年3月31日 発行

編集・発行 長坂町教育委員会
山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2575-19
TEL 0551-32-2111

印刷 峡北印刷株式会社
山梨県北巨摩郡長坂町長坂上条2313
TEL 0551-32-3245

